

# ごあいさつ

皆さまには、日頃より大光銀行グループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

昨年6月に大光銀行の頭取に就任しました川合昌一です。1942年の創業以来受け継がれてきた、地域社会の繁栄に奉仕する「地域密着経営」をはじめ良き伝統を大切にしながら、身近で頼りがいのある存在として、地域のために生き、地域の元気な未来をつくってまいります。

さて、地域金融機関を取り巻く経営環境をみますと、人口減少、気候変動問題、デジタル化の進展に加え、日本銀行の金融政策は正常化に向けた一步を踏み出しており、政策金利の引上げは金融機関にとり大きな経営環境の変化であるとともに、お客さまにも様々な影響を及ぼします。

こうした状況のなか、地域金融機関には、地域社会・経済の活性化を支える大きな役割が期待されており、従来の金融仲介機能はより質を高めて高度化させつつ、社会的価値の創造に向けた総合的なサービスの充実が一段と重要になっております。

このような環境認識のもと、当行は、2024年4月より10年後を見据えた長期戦略方針と、この方針に基づく第13次中期経営計画「Value Up～ワクワクする未来へ～」を鋭意推進しております。誰にも負けない高い熱量でお客さまに親身に寄り添う「大光らしさ」に磨きをかけ、本計画に掲げる施策を着実に実践することで、地域から信頼され、地域とともに成長し、地域の未来を創造する銀行、また、働く全ての人が互いに高め合い、いきいき・はつらつと輝いている銀行を築き上げてまいります。その過程においては、SBIグループとの資本業務提携等を通じてオープン・イノベーションをさらに加速させ、地元企業の生産性向上と地域のお客さまの資産形成を強力にサポートすることにより、地域社会・経済の活性化を力強く支えてまいります。

併せて、お客さまから信頼いただき、安心してご利用いただくため、コンプライアンスの徹底とリスク管理の高度化に引き続き取り組んでまいります。

当行は、こうした取組みにより、地域に根差した金融機関としての社会的責任と公共的使命を果たしてまいります。皆さまにおかれましては、引き続き倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025年1月

取締役頭取

川合昌一

## CONTENTS

2024年度中間決算ダイジェスト（単体）	1
地域活性化に向けた取組み	2
事業の概況（連結）	5
中間連結財務諸表	6
事業の概況（単体）	13
中間財務諸表	14
損益の状況（単体）	19
預金業務（単体）	21
融資業務（単体）	22
証券業務（単体）	27
有価証券の時価等情報（単体）	29
デリバティブ取引情報	30
経営効率（単体）	31
自己資本の充実の状況	32
役員	43
大株主一覧等	44
開示項目一覧	45

## PROFILE

本店所在地	新潟県長岡市大手通一丁目5番地6
創立	1942（昭和17）年3月
総資産	1兆6,851億円
預金	1兆4,789億円
貸出金	1兆1,475億円
資本金	100億円
従業員数	929人（うち出向者24人）
店舗数	71店舗
	新潟県内 62
	新潟県外 8
	インターネット支店 1
	（2024年9月30日現在）

### たいこうの「地域密着宣言」

私たちは、お客さまの良き相談相手として、

- ・お客さまを一番理解する銀行を目指します
- ・「お客さま目線」で、全力で考えます
- ・お客さまの未来のために、新鮮な気付きをお届けします
- ・お客さまからのご相談に素早くお応えします
- ・お客さま一人ひとりに、いつも笑顔で心を込めて接します

●本冊子は銀行法第21条に基づいて作成した中間ディスクロージャー資料（業務及び財産の状況に関する説明書類）です。

●本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切捨てのうえ表示しております。また、前年同期比の計数は、グラフ上または表上の数値による計算結果を表示しております。